

第二節

自佐世保 行動

一、自佐古保 至馬公

三月二十日(水曜) 正午位置 大立島燈台ノ南三十三度東六哩

天候晴 氣温最高五〇 最低四八 氣压最高三〇・三五 最低三〇・二二 風向北 風力二―四

午前九時佐世保軍港出港原速力十二節馬公向午後七時平力列三ノ同方海面ニ於テ解列自差修正及測定ヲ行フ午後七時平力列三ノ同七時三十分黃島ニヨリ船位ヲ定メ黒山島ニ向ヒ定針ス

三月二十一日(木曜) 正午位置

北緯三十一度四十三分 東經百三十五度三十分

天候半晴雨 氣温最高五五 最低四八 氣压最高三〇・三三 最低三〇・二二 風向北東 風力一―四

正午時辰ヲ西部標準時ニ改ム

三月二十一日(金曜) 正午位置

北緯三十七度三十分 東經百三十一度三十分

天候半晴雨 氣温最高五八 最低四八 氣压最高三〇・四〇 最低三〇・三〇 風向北 風力一―四

午前三時五分黒山島燈台ヲ認メ全四時四十七分變針支那東岸

ニ接シ南下ス

三月二十四日(土曜) 正午位置

北緯三十三度三十分八秒  
東經百十九度三十分三十一秒

天候曇雨

気温 最高六四  
最低五八

気圧 最高三〇・三七  
最低三〇・三〇

風向北東 風力四―七

午前十一時三到リ雲烟模糊ノ裡ニ澎湖島影ヲ認メ午後一時二十分島公ニ入港四番浮標ニ繫番ス

本航海航程八三哩航走時間三四時連日北東ノ風強吹シ南下スルニ後ヒ其ノ度ヲ加エカセ乃至八ニ達ス尤舳艦尾ヨリ来ル激浪ハ絶テ艦ヲ翻弄シ横動時ニ二十五度ニ及ブニ船体兵兎機関一ツノ故障ナク乗員ノ健康亦良態ニテ航海中主トシテ各種基本教練ヲ勵行シ又陣形運動對抗外瞻砲射撃等ヲ施行シ専ラ術力ノ向上ニ努メタリ。

燃料消費量類 第一種練炭參四七噸 重油貳噸

二 馬公要港在泊

自三月二十四日午後至同二十八日午前

馬公要港在泊中ハ主トシテ今後ノ行動ニ對スル諸般ノ準備實

施ニ努メタリ即チ左ノ如シ

三月二十四日(土曜)天候雨曇 氣温最高六四 最低五八 氣压最高三〇・三 最低三〇・八 風向北東風力四ノ一

佐世係ヲ搭載セル等ニ種標的及附屬具ヲ陸揚シ要港部ニ保管ヲ委託ス

三月二十五日(日曜)天候曇 氣温最高六二 最低五八 氣压最高三〇・三 最低三〇・三 風向北風力五ノ一六

第三種練炭四百六十箱搭載(甲板積置六四箱 艙庫三七箱)

三月二十六日(月曜)天候雨 氣温最高六〇 最低五八 氣压最高三〇・三 最低三〇・二 風向北風力五ノ一六

警戰準備ニ部左ノ通り施行ス

彈丸 伊集院信管ヲ装着シ裝藥ニ傳火藥ヲ装着ス其彈藥

庫別數量按配尤ノ如シ

前後部六吋彈藥庫 各百三十發

中部六吋彈藥庫

六十発

三吋彈藥庫

二百発

三月二十七日(火曜)天候曇 气温最高六。最低五。气压最高三〇。最低三〇。八 風向北東風力五六

醫戰準備第二期作業實施完成、上艦尾警式速力信號燈裝備各桁ニ於ケルハレリ下ノ副装置並前檣見張台側幕ヲ除キ他ノ作業ヲ復旧ス

魚雷實用頭部三個ニ裝藥ヲ裝顧ス

機関兵一名右胸膜炎ニ罹リ急病ノ見込ニナキメ馬公要港部病室ニ入室セシム

日序警式實施要領ヲ別紙ノ如ク制定シ艦員一般ニ示達ス

三月二十八日(水曜)天候晴 气温最高六。最低五。气压最高三〇。最低三〇。三 風向北東風力 五

午前八時出港原速力十哩香港ニ向フ

三、自馬公至香港

三月二十日(水曜)

正午位置

北緯二十三度十七分三十分  
東經百三十八度四十八分

天候晴

气温最高六。  
最低五。

气压最高三。六八  
最低三。三五

風向北東 風力五—六

午前八時出港原速力十二節香港ニ向テ機關候補生練習艦千歳  
ノ全シク香港ニ回航セントレ同時出港セラ全艦々長ノ希望ニ依リ假ニ當  
隊ニ番艦ノ位置ニ占位セラル本日より今次制定ノ日常警警戒具  
施要領ニ後ヒ日常警戒ヲ開始ス

三月二十九日(木曜)

天候晴

气温最高六。  
最低五。 气压最高三。五。  
最低三。四五

風向東 風力二—三

午前八時五十分香港東口横欄附近ニ於テ豫報アリタル英國駆逐艦  
一隻我々前路ニ進出し其ノ御警導ニ依リ香港ニ入港午前十時二分第三  
浮標ニ繫木焉

午前香港駐劄日本領事ヲ来訪ヲ受ク午後司令官ニ同伴當地海  
軍指揮官ニコモトヤーサンデマンヲ訪問ス

當時在港艦船左ノ如シ

英國軍艦「テーマー」「アラクリター」「ホワイテング」

露國軍艦「バチョラ」(旧姉川)

本航海航程三四哩航走時間一日二時ニシテ海上波浪高ク加スニ  
風ハ右舷正横ヨリ強吹シカ五乃至六艦動揺亦前期航海ニ讓ラ  
サレト雖モ船体兵鬼機関此ノ故障ヲ乗員ノ健康亦極メテ良  
態ニ在リ

燃料消費額第二種練炭七貳九冠

四 香港在泊

三月三十日(金曜)天候晴氣温最高六五  
最低六〇氣壓最高三〇・三  
最低三〇・三風向東風力一

午前司令官ニ同伴香港總督ノ氏ヲ訪問シ續テ其ノ答訪ヲ受ク

三月三十日(土曜)天候晴氣温最高六六  
最低六一氣壓最高三〇・三  
最低三〇・三風向東風力四―五

午前八時三十分海軍指揮官ノ來訪ヲ受ク

Faint table with multiple columns and rows, possibly containing historical records or data. The content is illegible due to low contrast and scan quality.



五、自香港至サンダカン

三月三十日 正午位置 北緯 三十二度一分三十秒  
東經 百十四度二十六分三十秒

天候晴 氣温 最高 六六  
最低 六一 氣壓 最高 三〇・三〇  
最低 三〇・三三 風向東 風力四―五

午前九時出港原速力十節サンダカンニ向フ午前十時十二分横欄  
燈台此ニ四度東一二理ニ於テ定針先ツ船首ヲ呂宋島ポイント  
ニ向ク

四月一日 正午位置 北緯 十九度六分  
東經 百十六度五分

天候晴 氣温 最高 七八  
最低 七一 氣壓 三〇・四〇  
三〇・三三 風向北東 風力四―五

四月二日 正午位置 北緯 十六度三分甲二秒  
東經 百十九度三十分八秒

天候晴 氣温 最高 八五  
最低 七七 氣壓 三〇・三三  
三〇・三九 風向東兼南 風力三―四

午前十一時五分左舷船首四尺十餘理ニポイント南方ノ連山  
ヲ視認シテ船位ヲ確メ午後一時五十二分變針呂宋島西岸ニ  
沿ヒ南下ス 變針地莫豫定位置ヨリ南方ハ偏位セルヲ約ニ

十七理實ニ毎時〇五哩ノ割合ナリ

本日ヨリ夏季ノ日課ヲ施行ス

四月三日 正午位置 北緯一十一度四十五分三十分  
東經西三十一度七分三十分

天候晴 氣温 最高八・五  
最低八・一 氣壓 最高三〇・九  
最低三〇・三 風向東北東 風力二・三

午前 ミンドロ ストリート ヲ 入 リ テ ス ル 海 ニ 出 テ ミ シ ダ オ 島 及 パ イ 島

ノ西岸ヲ接シテ更ニ南下シ午後九時三十分ニ至リ パ イ 島 南

部 ナ イ 岬 ノ 南 方 ノ イ カ ス 燈 台 ヲ 北 三 十 度 東 七 理 六 鐘 ニ 見 テ 變

針 サ ウ ウ エ ス タ リ ノ 針 路 ヲ 株 リ 爾 後 小 角 度 ノ 變 針 數 回 ス ル 海

ノ洋心ヲ横過シテ サ レ ダ カ レ ニ 向 フ

四月四日 正午位置 北緯一十二度五十分  
東經西三十一度五十六分

天候晴 氣温 最高八・四  
最低八・〇 氣壓 最高三〇・三  
最低二九・九 風向東南東 風力一・二

午後一時三分カウエリ島ノ南方六十哩ニ於テ 解 列 自 差 修 正 及

測定ヲ行ヒ午後五時十分ヲ了シカウエリ島ノ南方六十五哩ニ

於テ平戸ト會合サテカニ向フ

四月五日 正午位置 其緯 東經

天候晴 氣温 最高四 最低八 氣壓 最高三〇〇 最低二九七 風向南東 風力一

午前當隊參謀ヨリ尤ノ通報ヲ受領ス

香港ヨリ電報ニ依ル獨逸武裝商船去ニ日バシラン島沖ニ現ハレタ

旨麻尼刺ヨリ通報ニ接セリト云フ右通報ス

天明頃カバシラン島附近ニ達シ解列我前程ヲ横過ス一汽船ニ

對シ本艦ノミ之ヲ追蹙シテ誰何セル米商船ナルヲ答エ且ツ米領

海内ニ入ルヲ以テ之ヲ解放シ直ニ平戸ニ追及シ列ニ入ル午前十時五

十分タカナク島南方錨地假泊西艦汽動艇四隻ヲ以テ編組セ

ル特別掃海艇隊ヲ進發セシメ該錨地ヨリサレカシヘノ進入路掃

海ヲ行シム午後三時未ダ掃海ノ完カラザルニ際レ揚錨出港午後

五時十二分無事サレカシ入港豫定錨地ニ錨泊ス入港後間モナク

「ハーバーマスター」42名、氏ノ乗訪ヲ受ク

本航海航程ニ五六哩航走五日四時間其前半支那海横断  
ニ於テハ前期航海ニ於ケルト全ク同様力五乃至六ニ達スル其東信  
風強吹シテ艦ヲ離弄シ横動時ニ至五度ニ達セリ其漸ク呂宋  
島ニ近カ、シトスルヤ風向漸時北偏スルヲ見タリ而シテ後半  
スルニ海ノ航海ハ無風平水海上鏡ノ如ク又流亦等ノ達  
遭モナク最モ安穩ナル航海タリ故ニ各種基本教練及部  
署教育ヲ充分ニ又秩序的ニ施行スル事ヲ得タリ乗員  
ノ健康最モ良態船体兵器機関亦此ノ故障ナシ